



## 【治療別】歯科治療の中断が引き起こすトラブルTOP3



“歯医者さんに行こう”と思うきっかけのなかで、とくに多いのは「歯が痛い」「噛めない」など日常生活に支障をきたした時だと思います。私たち治療をする側もそれに応じようと、まず患者さんの日常を取り戻すことを第一に考え、「痛みをとること」「噛めること」を優先に治療を進めています。

ただその一方で、患者さんのなかには生活をするうえでの障害がなくなると、そのまま治療を中断されるかたがおられることも事実です。

“痛みがなくなったこと”・“噛めるようになったこと”は、問題がすべて解決されたように思われることがあります。しかし、治療が完全に終わらないまま放置すれば、さらに大きなトラブルに見舞われる可能性があることを理解しておきましょう。

今回は「むし歯治療」「根管治療」「歯周病治療」「抜歯後」の4つの治療ごとに、治療を中断したことによって引き起こすトラブルTOP3をご紹介します。

### 治療の中断が引き起こすトラブルTOP3

#### 「むし歯治療」編

##### 第1位

**完成した詰め物・被せ物が合わなくなる**

仮詰めや仮歯の状態での治療を中断すると、せっかく作った詰め物や被せ物が歯に合わなくなることがあります。その場合、歯の削り直しや歯型の取り直しが必要となります。

##### 第2位

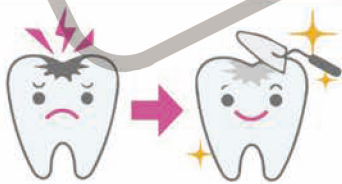
**治療した部分に新たなむし歯が発生する**

仮詰めや仮歯のすき間から汚れが入り込み、新たなむし歯を発生させるおそれがあります。

##### 第3位

**神経を残せなくなる**

上記のような理由で再治療が必要になった際、場合によっては歯の神経が残せなくなる可能性があります。



むし歯治療では、むし歯になった部分を削って詰め物や被せ物を作るための歯型を取り、さらに削った部分に仮詰めや仮歯を入れて次回の治療まで待ちます。

また、大きなむし歯の場合は、鎮静効果のある薬剤を詰め、症状が落ち着くのを待つことがあります。

いずれの場合も、治療により痛みなどの症状が落ち着き、さらにある程度は噛めるようになると、この段階で治療を中断してしまう方も少なくありません。しかしそのまま放置してしまうと、上記のようなトラブルが起こりやすいため注意しましょう。

### 治療の中断が引き起こすトラブルTOP3

#### 「根管治療」編

##### 第1位

**前よりもさらに強い痛みや腫れが生じる**

根管の中で細菌が増殖すると、これまでの痛みや腫れがより強くなる場合があります。

##### 第2位

**再治療に時間がかかる**

中断していた時間が長くなるほど、再治療をはじめても完治するのに長い時間を要します。

##### 第3位

**自分の歯が残せなくなる**

治療途中の歯はもろく、噛む力などで歯が割れたり折れたりしやすくなります。これにより最悪の場合、歯が残せず抜歯となります。

歯科治療の中でもとくに治療を中断される方が多いのは、「根管治療」と呼ばれる歯の根っこの治療です。その理由として、根管治療には複数回の通院が必要であること、症状によっては治療が数カ月にも及ぶことがある、などが挙げられます。

ただ、根管治療は中断した時間が長くなるほど歯に対するダメージが大きくなり、最悪の場合、自身の歯が残せなくなるため注意が必要です。





## 治療の中断が引き起こすトラブルTOP3

### 「歯周病治療」編

#### 第1位

##### 歯周病が今よりもさらに進行・悪化する

治療によって食い止められていた病状が、治療の中断により今よりもさらに悪化していきます。

#### 第2位

##### 一度治った歯周病が再発する

治療が一通り終わったあとでも、定期的なメンテナンスを継続しないと歯周病が再発します。

#### 第3位

##### 自身の歯が残せなくなる

歯周病の進行・再発により、歯槽骨の破壊がさらに進むと歯が残せなくなります。



歯周病の治療も期間が長くかかるため、途中で中断される方が少なくありません。

歯周病は病状が進行しているものほど完治が難しく、治療においては“現状維持”と“進行の抑制”をその目標においていきます。

したがって、治療を中断してしまうと今よりもさらに病状が悪化し、最終的には自身の歯を残せないまでに進行していきます。

また、歯周病は一通りの治療が終了したとしても、引き続き定期的なメンテナンスが必要となります。

とくに深い歯周ポケットが残っているケースほど歯周病の再発率は高くなるため、治療後もメンテナンスを継続することが必要になります。

## 治療の中断が引き起こすトラブルTOP3

### 「抜歯後」編

#### 第1位

##### 残っている歯が動いて、歯並び・噛み合わせが悪くなる

空いているスペースに向かって歯が動きだすため、歯並びや噛み合わせが悪くなります。

#### 第2位

##### 残っている歯が悪くなる

噛み合わせの変化によって残っている歯に大きな負荷がかかるようになると、歯が折れたり欠けたりしやすくなります。

#### 第3位

##### インプラントやブリッジの治療が難しくなる

歯並びが大きく変化すると、従来の方法ではインプラントやブリッジを入れるのが難しく、人工歯が入るまでに長い期間を要してしまいます。

何らかの理由で抜歯になった場合、歯を抜いた後にその代わりとなる歯(人工歯)を補う治療が必要になります。

具体的には「インプラント」「ブリッジ」「入れ歯」の3つの方法から、自身のお口の状態や要望・予算などに応じて治療法を選択していきます。

一方で、歯を抜いても食事や見た目に支障がない場合では、抜歯した後に治療を中断してしまうかたもおられます。

しばらくの間はそれでもとくに問題を感じませんが、歯のない状態を長く放置すると、そのうち歯並びが大きく変化し、上記のようなトラブルを招くおそれがあるため注意しましょう。



## どんな治療でも必ず最後まで通院しましょう

## Point



むし歯や歯周病をはじめとする歯科疾患の多くは1回での完治は難しく、すべての治療が終わるまでに複数回の通院が必要となります。

「忙しい」「面倒」など治療を中断する理由はさまざまですが、中断している期間が長くなるほど、その代償はあなたに大きく降りかかります。あとで後悔することにならないよう注意しましょう。

治療をはじめるとは、治療にかかる回数や期間を把握し、あらかじめ無理のない通院スケジュールを立てておくことが肝心です。また通院が困難になった場合でも、必ず歯科医にその旨を相談しましょう。